月刊 AMAKI サイエンス部ニュース

創刊号
平成24年
5月10日発行

花壇に花を植えましょう

夏に向けて！

生物教室(第３棟１階)前の花壇的な所に花の球根や種を植え付けました。今回植え付けたのはチューリップ，ツルバキア，スイセン，ゼフィランサス，ハブランサスの５種類です。
まだ，大きくなっていない球根を植えたので，いつか大きくなったらきっと花が咲くでしょう☆☆
ちなみに，種も蒔いたのですが，芽が出る かどうか非常に怪しいので，花が咲いたときのお楽しみ。次回は，夏に向けて，グリーンカーテンの準備をします。

部活動紹介に登場したのはロボット１ ？？

自分のやりたい実験などがあればできるので気楽に入ってください。また，２年の普通科や理数科の課題研究がとってもやりやすくなりかも(？)
このロボットは”ロボジー”を意識して作ってみましたが，関節を特に工夫して中の人の手足が見えないようにしました。なので，完成までにそれなりの時間がかかり，シナリオもがんばって考えた作品です。サイエンス部だからといって，毎回ただ黙々と実験ばかりして暗い感じの部活だと思うかもしれませんが，楽しく笑い合えるとても楽しい部活動です。
サイエンス部は誰でも大歓迎です！少しでも科学に興味があれば，是非入部してみましょう！
楽しい活動と２，３年次生が迎えてくれますよ！？

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆現在，活動内容で３つの班があります☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

化学班

半年前に発足しました。現在は，炎に色がロウソク作りをしています。誕生日会をカラフルに炎で満たすという野望を胸に日々，実験をしています。もしかすると，今年度はその成果を発表できるかも･･･？！是非，是非，化学班へｗｅｌｃｏｍｅ！！「こんな実験してみたい」という意見も大募集中です。
【研究内容】昨年から，ステアリン酸を基盤とし，炎色反応に用いる物質を混ぜ写真のようなロウソクを作りました。ホウ酸は緑色，$SrCl_2$は赤色，LiCl は紫色の炎になりました。最初は物質が固まらずお世辞にもロウソクとは呼べない姿でしたが，分量や冷やし方変えることできれいなロウソクを作り上げることに成功。あの時の喜びは今でも忘れられません。現在は，石けんロウソクの完成を目指して日々，試行錯誤を続けています。

生物班

後継者を”超”募集中です。生物好きな人来てください。活動内容は自由です。私と活動してくれる人が，昨年度は，残念ながら１人しかいませんでした。今回の植物生育計画(上写真)は長期計画なので「誰か世話してくれー！」
【研究内容】主に生物全般を相手に活動をしています。昨年は，植物が好きな班員が好きな花や植物を生物教室前の花壇に植えました。特に，環境緑化にも取り組み，アサガオとフウセンカズラで作ったグリーンカーテンは，なかなか良い出来で，夏場でも涼しげな生物教室を作り上げることができました。今年は，さらにグレードアップしたグリーンカーテンを目指しています。

物理班

１年次生は，ロボコンができます。今年度から部費も少し増えたので，欲しい材料もいろいろ買えると思います。昨年度は，決勝まで進出しました。他にもやりたいことができるのでサイエンス部に是非入ってください。
【研究内容】仁科芳雄博士生誕120年記念ロボットコンテスト出場に向けて，競技内容に合わせたロボット(写真)の改良に日々取り組んでいます。活動場所は，天城中学からも出場することから，主にサイエンス館で活動しています。

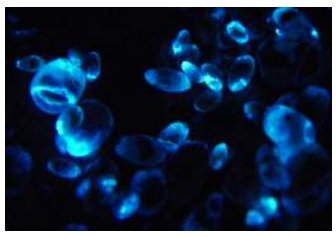
☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆こんな活動もしています☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

サイエンスチャレンジ岡山

平成 23 年 11 月 13 日(日)
全国大会「科学の甲子園」の岡山県代表選考会として中国職業能力開発大学校行われました。チーム「むぴょこ」として，今回で二度目の出場です。理科･数学分野【筆記競技】，物理･化学分野【実験競技】，生物･地学分野【実験競技】，情報工学競技，工学競技，科学コミュニケーション競技の６種目の総合得点で競い合います。残念ながら優勝争いには，絡むことができませんでしたが，部員みんながサイエンスな知恵・知識を結集した競技はとても楽しいものとなりました。

源流大学

平成 23 年 8 月 10 日(水)～ 11 日(木)
第２回旭川源流大学ｉｎ新庄村(主催：岡山野生生物調査会)への参加しました。山の駅「味わいの宿新庄」をベースに真庭郡新庄村周辺の色々な場所で生物の調査をしました。校内では得られない水生昆虫やブナ自然林など，自然環境の生物把握を目的として興味深い活動ができました。また，他校や大学生との交流ができ，新庄村の文化や産業についても知ることができ，楽しい２日間でした。

ウミホタル観察会

平成 23 年 8 月３１日(水)
夏の恒例観察会。玉野の某所でウミホタルを採集します。餌(レバーやちくわ)を入れた仕掛け(インスタントコーヒーの空き瓶)を海に沈めて５分～１０分。引き上げると数え切れないほどのウミホタルが採取できます。仕掛け瓶の中で乱舞する様子を観察したあと，網にすくい取ると青い光を放って幻想的に光ります(写真)。採取したウミホタルは，乾燥して(ちょっとかわいそう！)，オープンスクールの実験や文化祭の展示に使います。